

4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道および電気の4事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおりで、前年度の384億2,449万6千円に比べ、11億9,153万4千円、3.1%の増となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会計名	平成30年度 当初予算額 (A)	平成29年度 1号補正後 予算額 (B)	比較	
			増 (A) — (B)	伸び率 (A) — (B) / (B)
病院事業	7,259,909	7,254,911	4,998	0.1
水道事業	15,199,612	15,419,893	△220,281	△1.4
工業用水道事業	14,507,405	13,148,762	1,358,643	10.3
電気事業	2,649,104	2,600,930	48,174	1.9
合計	39,616,030	38,424,496	1,191,534	3.1

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

病院事業は、県立こころの医療センター、県立一志病院及び指定管理者制度を導入している県立志摩病院の3病院を管理運営し、県民の皆さんの健康保持と医療水準の向上に努めています。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 770床

(イ) 患者数

	年間	1日平均
入院患者数	212,049人	581人
外来患者数	167,652人	687人

イ. 収益的収支 収入 5,320,584千円 資本的収支 収入 1,510,317千円

支出 5,367,286千円 支出 1,892,623千円

収益的収入は、入院収益、外来収益等の医業収益が30億343万9千円、他会計補助金、長期前受金戻入、負担金等の医業外収益が23億1,714万5千円で、合わせて53億2,058万4千円を計上しています。

また、収益的支出は、給与費、材料費、経費、減価償却費等の医業費用が51億9,043万6千円、支払利息等の医業外費用が1億7,685万円で、合わせて53億6,728万6千円を計上しています。

これらの収支見込みにより、平成30年度は4,670万2千円の経常損失を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債5億3,580万円や県費負担金3億7,211万7千円など、合わせて15億

1,031万7千円を計上しています。

また、資本的支出は、建設改良費5億5,078万5千円や企業債償還金6億4,823万8千円など、合わせて18億9,262万3千円を計上しています。

ウ. 平成30年度の事業運営

県立こころの医療センターにおいては、県内の精神科医療の中核病院としての取組など、県立一志病院においては、総合診療医（家庭医）を中心としたプライマリ・ケアの取組など、また、県立志摩病院においては、指定管理者による運営のもと、診療体制の回復を図りながら、志摩地域の中核病院としての取組を進めるなど、それぞれの県立病院に求められている役割・機能等を踏まえつつ、県民の皆さんに安全で良質な医療が提供できるよう充実した取組を実践するとともに、引き続き経営改善に努めていきます。

(2) 水道事業会計

水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市及び亀山市を含む4市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量149,300m³）、津市、松阪市を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）、伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市5町を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量139,850m³）により、水道用水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

年間総給水量 71,146,530m³

1日平均給水量 194,922m³

イ. 収益的収支	収入	9,462,457千円	資本的収支	収入	296,888千円
	支出	9,183,335千円		支出	6,016,277千円

収益的収入は、給水収益86億475万円及びその他営業収益を合わせた営業収益86億1,739万円と長期前受金戻入7億8,913万1千円等の営業外収益8億4,506万7千円です。

収益的支出は、人件費、委託料、減価償却費等の営業費用85億5,850万6千円と支払利息等の営業外費用6億2,282万9千円が主なものです。

以上の結果、3,332万5千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、一般会計出資金1億3,895万4千円と長期貸付金償還金1億円が主なものです。

資本的支出は、北勢水道改良費等の建設改良費36億3,885万7千円、企業債償還金等の償還金23億7,742万円です。

ウ. 主な建設改良計画

大規模地震や設備の老朽化などに対応するため、北勢水道改良事業等において、耐震化や老朽化対策等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備及び改良事業	H30	64,066	64,066	既設設備の改良
北勢水道改良事業	H30	2,520,992	2,520,992	既設施設の改良
中勢水道改良事業	H30	383,825	383,825	既設施設の改良
南勢水道改良事業	H30	617,564	617,564	既設施設の改良

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力840,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）及び松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）により、工業用水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

- (ア) 給水会社数 90社
- (イ) 年間総給水量 208,316,250m³
1日平均給水量 570,729m³

イ. 収益的収支 収入 6,183,811千円 資本的収支 収入 4,337,724千円
支出 5,988,605千円 支出 8,518,800千円

収益的収入は、給水収益53億9,191万8千円及びその他営業収益を合わせた営業収益56億2,702万6千円と長期前受金戻入3億7,599万8千円等の営業外収益5億5,678万5千円です。

収益的支出は、人件費、負担金、減価償却費等の営業費用55億5,305万7千円と支払利息等の営業外費用4億3,354万8千円が主なものです。

以上の結果、2,468万1千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債36億8,000万円と国庫補助金3億3,440万円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良費等の建設改良費72億5,289万4千円と企業債償還金12億6,590万6千円です。

ウ. 主な建設改良計画

大規模地震や設備の老朽化などに対応するため、北伊勢工業用水道改良事業等において、耐震化や老朽化対策等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備及び改良事業	H30	66,611	66,611	既設設備の改良
北伊勢工業用水道改良事業	H30	6,583,560	6,583,560	既設施設の改良
松阪工業用水道改良事業	H30	320,677	320,677	既設施設の改良
中伊勢工業用水道改良事業	H30	103,682	103,682	既設施設の改良

(4) 電気事業会計

電気事業は、三重ごみ固形燃料発電所において、RDF焼却・発電施設等の安全・安定な運転により発電された電気を電気事業者等に供給しています。

ア. 業務の予定量

年間販売電力量 43,109,279kWh

イ. 収益的収支	収入	1,359,543千円	資本的収支	収入	－千円
	支出	2,649,104千円		支出	－千円

収益的収入は、電力料6億3,634万8千円及びその他営業収益を合わせた営業収益13億1,532万5千円と長期前受金戻入4,139万円等の営業外収益4,421万8千円です。

収益的支出は、人件費、委託料、修繕費等の営業費用25億4,994万1千円と特別損失7,139万6千円が主なものです。

以上の結果、12億218万6千円の当期純損失を計上しています。

一口メモ

- 収益的収支…当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支…住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。